

## 「東紀州こどもの園」プロジェクトとは

本プロジェクトは、葉田順治（エレコム株式会社 現会長）個人の着想により始まった活動です。

葉田は十年近く前から、個人としてまた公益財団法人 葉田財団として、児童養護施設などへの寄付をはじめとする子どもたちへの支援活動を行っています。支援活動を続ける中で子どもたちが、児童養護施設での生活を通して自信を回復し、今後の生活に向き合っていくよう、子どもたちが卒園したことに誇りを持てるような施設を、自身の故郷である三重県熊野市へ寄付することを決意しました。

一方当社は、サステナビリティレポート2023に記載のとおり「社会との共生」を1986年の創業時から当然のこととして、経営の根底に据えています。そのような背景から本プロジェクトへ共鳴し、社会や地域への貢献活動の一環として一部を寄付します。

当初は、葉田個人で始まったプロジェクトでしたが、世界的建築家 隈研吾氏に、地元の紀州材をふんだんに使用する本プロジェクトの趣旨と合わせて設計を依頼したところ快諾いただきました。また、三重県において、児童養護施設などの運営に携わられている社会福祉法人 聖マッセヤ会 理事長 池田修一様、そして熊野市長 河上敢二様にもご賛同いただき、みなさまの善意が結集したプロジェクトとして、この度、発表する運びとなりました。

「東紀州こどもの園」プロジェクトの児童養護施設は、三重県熊野市金山町内に建設いたします。

2023年7月に着工しており、来春完成予定です。